

(3) ハ 株主(社員)資本等変動計算書の標準フォームを使用し作成する方法(Excel2013 を利用した場合)

株主(社員)資本等変動計算書の標準フォームを使用しCSV形式データを作成する方法について、以下のとおり説明します。

なお、CSV形式データを作成する際には、掲載している「[\(2\) CSV形式データ作成に当たっての留意事項](#)」及び「[CSV形式データのレコードの内容等](#)」をご確認いただきますようお願いいたします。

No.	操作画面等	操作要領等												
1	<p>標準フォーム(入力用)</p> <p>標準フォーム(CSVデータ作成用)</p>	<p>株主(社員)資本等変動計算書の標準フォームは、左図のとおり、シートが「入力用」と「CSVデータ作成用」に分かれています。</p> <p>「入力用」シートは、「純資産の内訳項目」を横に、「変動事由」を縦に記載した「表型」で、「入力用」シートに入力した値が「CSVデータ作成用」の該当項目に転記されます。</p> <p>※ 「入力用」シートの入力可能な項目については、セルを黄色にしています。灰色の項目については、入力しても「CSVデータ作成用」に転記されません。</p>												
2	<p>標準フォーム(CSVデータ作成用)</p>	<p>【手順1：必須項目(法人名等)の入力】</p> <p>標準フォーム(CSVデータ作成用)の赤色枠内に、「(法人名)」を全角文字、「事業年度(自)」及び「事業年度(至)」を半角文字「YYYY-MM-DD」の形式で入力してください。</p> <p>(例)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記録データ</th> <th>内容</th> <th>記録方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国税商事(株)</td> <td>法人名</td> <td>国税商事株式会社</td> </tr> <tr> <td>H31. 4. 1</td> <td>事業年度(自)</td> <td>2019-04-01</td> </tr> <tr> <td>R 2. 3.31</td> <td>事業年度(至)</td> <td>2020-03-31</td> </tr> </tbody> </table>	記録データ	内容	記録方法	国税商事(株)	法人名	国税商事株式会社	H31. 4. 1	事業年度(自)	2019-04-01	R 2. 3.31	事業年度(至)	2020-03-31
記録データ	内容	記録方法												
国税商事(株)	法人名	国税商事株式会社												
H31. 4. 1	事業年度(自)	2019-04-01												
R 2. 3.31	事業年度(至)	2020-03-31												

No.	操作画面等	操作要領等
3	<p>「資本金」の変動事由「新株の発行」を入力する場合</p> <p>標準フォーム(入力用)</p> <p>標準フォーム(CSVデータ作成用)</p>	<p>【手順2：金額等の入力】</p> <p>① 左図のとおり、標準フォーム(入力用)の該当項目(B列、7行目)に、値を入力してください。</p> <p>② ①で入力した値が、標準フォーム(CSV形式データ作成用)の「内容又は金額等」(F列)の該当箇所に転記されます。</p> <p>なお、転記された項目のセルは黄色に反転します。</p> <p>(注) 標準フォーム(CSV形式データ作成用)から内訳項目及び変動事由(以下「勘定科目等」といいます。)の「内容又は金額等」を直接入力する場合は、「⑤口 標準フォームを使用し作成する方法(Excel2013を利用した場合)」をご参照ください。</p>

【参考1】「利益剰余金」の内訳項目に使用している項目が「標準フォーム(入力用)にない(「別途積立金」等の独自の内訳項目を使用している)場合は、以下の手順により、入力してください。

<p>自由に追加できる内訳項目を3つ用意</p> <p>「別途積立金」の「当期首残高」を入力する場合</p>	<p>「入力用」シートに、利益剰余金の「内訳項目」を自由に追加できる項目を3つ用意しています。</p> <p>① 「追加内訳項目1」(Q列、4行目)に「別途積立金」と入力し、「当期首残高」(Q列、5行目)に値を入力してください。</p>
--	--

No.	操作画面等	操作要領等
	<p>「別途積立金」が自動転記されます。また該当の「勘定科目コード」は事前に入力されています。</p>	<p>② 「追加内訳項目1」で入力した「別途積立金」が、標準フォーム（CSV形式データ作成用）の「種別又は勘定科目」（E列）の該当箇所に自動転記されます。</p> <p>③ ①で入力した値が、標準フォーム（CSV形式データ作成用）の「内容又は金額等」（F列）の該当箇所に転記されます。</p> <p>なお、転記された項目のセルは黄色に反転します。</p>

【参考2】標準フォーム（CSVデータ作成用）シートから勘定科目等を直接入力する場合

法人が作成した財務諸表に、「評価・換算差額等」の項目で「為替換算調整勘定」等の独自の勘定科目等を使用している場合は、以下の手順により、入力を行ってください。

① 「CSV形式データ作成用」シートの「勘定科目区分」（C列）で「追加」を選択してください。


② 独自の勘定科目等が入力できる欄が 30 行表示されます。

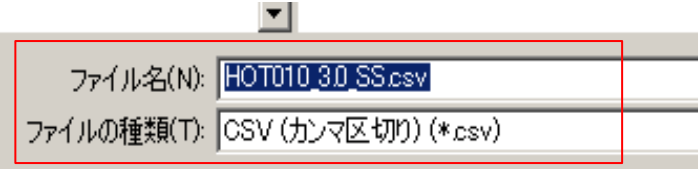
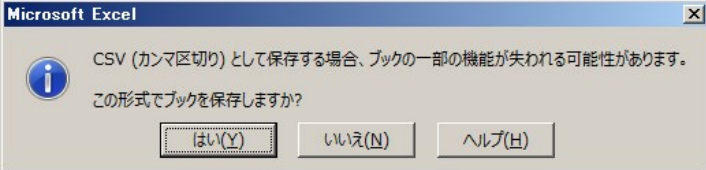
なお、勘定科目等を 31 以上追加する場合は、適宜行のコピー等を行ってください。

③ 「種別及び勘定科目」（E列）に「為替換算調整勘定」等を、「内容又は金額等」（F列）に値を入力してください。

(注) 「種別又は勘定科目」（E列）を入力すると、必須項目である「行区分」、「階層番号」及び「勘定科目コード」のセルが赤反転します(赤反転した項目は、入力すると戻ります(手順5)。)。

No.	操作画面等	操作要領等
4	「手順2」、「参考1」及び「参考2」の作業を繰り返し、株主（社員）資本等変動計算書の全てのデータを作成してください。	
5		<p>【手順3：「CSV作成順番※」の入力】</p> <p>上記手順で入力した勘定科目等の「CSV作成順番」に、CSVデータを作成する順番の番号を入力してください（「1」～「5」までは入力済のため、「6」から入力してください。）。</p> <p>なお、CSVデータは作成している財務諸表に記載の勘定科目等の順番で作成してください。</p> <p>※XBRL変換後、e-Taxソフト等で帳票表示した場合に、CSVデータを作成した順番で勘定科目等が表示されます。その際、CSV形式データ内の勘定科目等の順番で表示されるため、「株主資本」等のタイトル項目については、適宜、「CSV作成順番」に番号を入力してください。</p>
6		<p>【手順4：「CSV作成順番」の並び替え】</p> <p>作成した全てのデータについて、「手順3」で入力した「CSV作成順番」を、「昇順」にしてください。</p> <p>「昇順」にすることで、作成している財務諸表に記載の勘定科目等の順番に並び替え、CSVデータを作成することができます。</p>
7		<p>【手順5：必須項目の入力等】</p> <p>必須項目である「行区分」、「階層番号」及び「勘定科目コード」を入力してください。</p> <p>罫線が引かれたセルには留意事項等の一部が表示されるよう設定を行っております。</p> <p>なお、一部の留意事項等に沿って入力されていない場合については、セルが赤反転しますが、入力に当たっては、「CSV形式データのレコードの内容等」をご確認ください。</p> <p>例) 「階層番号」については、</p> <ul style="list-style-type: none"> 上の行の「階層番号」が未入力 上の行の「階層番号」より「2」より大きい数字を入力した場合に、赤反転します。

No.	操作画面等	操作要領等																																																																																
7	<p>【入力例】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>I</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td>5</td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td>勘定科目コード</td></tr> <tr><td>3</td><td>階層番号を反映した勘定科目体系</td><td>金額</td><td>【必須】</td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td>半角</td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td>20文字以内</td></tr> <tr><td>95</td><td>評価・換算差額等</td><td></td><td>SS2400</td></tr> <tr><td>96</td><td>その他有価証券評価差額金</td><td></td><td>SS2500</td></tr> <tr><td>97</td><td>当期首残高</td><td>1,234,560,000</td><td>SS2501</td></tr> <tr><td>98</td><td>当期変動額</td><td></td><td>SS2502</td></tr> <tr><td>99</td><td>株主資本以外の項目の当期変動額（純額）</td><td>1,000,000</td><td>SS2510</td></tr> <tr><td>100</td><td>当期変動額合計</td><td>1,000,000</td><td>SS2598</td></tr> <tr><td>101</td><td>当期末残高</td><td>1,235,560,000</td><td>SS2599</td></tr> <tr><td>102</td><td>為替換算調整勘定</td><td></td><td>SS2400-1</td></tr> <tr><td>103</td><td>当期首残高</td><td>98,765,400</td><td>SS2400-1-1</td></tr> <tr><td>104</td><td>当期変動額</td><td></td><td>SS2400-1-2</td></tr> <tr><td>105</td><td>株主資本以外の項目の当期変動額（純額）</td><td>200,000</td><td>SS2400-1-2-1</td></tr> <tr><td>106</td><td>当期変動額合計</td><td>200,000</td><td>SS2400-1-2-2</td></tr> <tr><td>107</td><td>当期末残高</td><td>98,965,400</td><td>SS2400-1-3</td></tr> <tr><td>108</td><td>評価・換算差額等合計</td><td></td><td>SS2800</td></tr> </tbody> </table> <p>追加した勘定科目等(青枠内)の「勘定科目コード」は、追加した勘定科目等より上に入力した勘定科目等で、追加した勘定科目等及び他の勘定科目等の合計又はタイトル(表題)となる勘定科目等(赤枠内)のコードに枝番(「-(ハイフン)」+「正の整数」)を付して入力してください。</p>		A	B	I	1			5	2			勘定科目コード	3	階層番号を反映した勘定科目体系	金額	【必須】	4			半角	5			20文字以内	95	評価・換算差額等		SS2400	96	その他有価証券評価差額金		SS2500	97	当期首残高	1,234,560,000	SS2501	98	当期変動額		SS2502	99	株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,000,000	SS2510	100	当期変動額合計	1,000,000	SS2598	101	当期末残高	1,235,560,000	SS2599	102	為替換算調整勘定		SS2400-1	103	当期首残高	98,765,400	SS2400-1-1	104	当期変動額		SS2400-1-2	105	株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	200,000	SS2400-1-2-1	106	当期変動額合計	200,000	SS2400-1-2-2	107	当期末残高	98,965,400	SS2400-1-3	108	評価・換算差額等合計		SS2800	<p>勘定科目等を追加した場合の「勘定科目コード」の入力については、左図の「入力例」及び「勘定科目コード表に記載のない勘定科目コード等の設定について」を参照してください。</p>
	A	B	I																																																																															
1			5																																																																															
2			勘定科目コード																																																																															
3	階層番号を反映した勘定科目体系	金額	【必須】																																																																															
4			半角																																																																															
5			20文字以内																																																																															
95	評価・換算差額等		SS2400																																																																															
96	その他有価証券評価差額金		SS2500																																																																															
97	当期首残高	1,234,560,000	SS2501																																																																															
98	当期変動額		SS2502																																																																															
99	株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,000,000	SS2510																																																																															
100	当期変動額合計	1,000,000	SS2598																																																																															
101	当期末残高	1,235,560,000	SS2599																																																																															
102	為替換算調整勘定		SS2400-1																																																																															
103	当期首残高	98,765,400	SS2400-1-1																																																																															
104	当期変動額		SS2400-1-2																																																																															
105	株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	200,000	SS2400-1-2-1																																																																															
106	当期変動額合計	200,000	SS2400-1-2-2																																																																															
107	当期末残高	98,965,400	SS2400-1-3																																																																															
108	評価・換算差額等合計		SS2800																																																																															
8	 <p>▼</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>A</td><td>SS</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>B</td><td>国税商事株式会社</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>C1</td><td>2019-04-01</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>C2</td><td>2020-03-31</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td colspan="4">株主資本等変動計算書</td></tr> <tr><td>6</td><td>株主資本</td><td></td><td>T</td><td>2</td></tr> <tr><td>7</td><td>資本金</td><td></td><td>T</td><td>3</td></tr> <tr><td>8</td><td>当期首残高</td><td>10000000000</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>9</td><td>当期変動額</td><td></td><td>T</td><td>4</td></tr> <tr><td>10</td><td>新株の発行</td><td>3000000000</td><td>1</td><td>5</td></tr> <tr><td>11</td><td>当期変動額合計</td><td>3000000000</td><td>1</td><td>6</td></tr> <tr><td>12</td><td>当期末残高</td><td>10300000000</td><td>1</td><td>6</td></tr> <tr><td>13</td><td>資本剰余金</td><td>0</td><td>T</td><td>6</td></tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	E	1	A	SS			2	B	国税商事株式会社			3	C1	2019-04-01			4	C2	2020-03-31			5	株主資本等変動計算書				6	株主資本		T	2	7	資本金		T	3	8	当期首残高	10000000000	1	4	9	当期変動額		T	4	10	新株の発行	3000000000	1	5	11	当期変動額合計	3000000000	1	6	12	当期末残高	10300000000	1	6	13	資本剰余金	0	T	6	<p>【手順6：CSV形式データへの変換準備】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① データ等入力後、 <ul style="list-style-type: none"> ・タイトル行(青色枠内(1から5行目)) ・【参考】項目(赤色枠内(AからD列目)) ・未使用項目(緑色枠内) を削除してください。 ② 入力したデータのみとなったことを確認してください。 ③ 入力した数値等を確認するとともに、勘定科目の入力順が正しいか確認してください。 										
A	B	C	D	E																																																																														
1	A	SS																																																																																
2	B	国税商事株式会社																																																																																
3	C1	2019-04-01																																																																																
4	C2	2020-03-31																																																																																
5	株主資本等変動計算書																																																																																	
6	株主資本		T	2																																																																														
7	資本金		T	3																																																																														
8	当期首残高	10000000000	1	4																																																																														
9	当期変動額		T	4																																																																														
10	新株の発行	3000000000	1	5																																																																														
11	当期変動額合計	3000000000	1	6																																																																														
12	当期末残高	10300000000	1	6																																																																														
13	資本剰余金	0	T	6																																																																														

No.	操作画面等	操作要領等
9	 <p>【ファイル名 : HOT010_3_0_SS.csv】</p>	<p>【手順7 : CSV形式データの作成】</p> <p>作成した Excel データのファイルの種類を「CSV (カンマ区切り) (*.csv)」とし、CSV形式データを作成します。</p> <p>標準フォームを使用し、CSV形式データを作成する場合のファイル名は、「HOT010_3_0_財務諸表種類※」が設定されます。</p> <p>※ 財務諸表種類は半角文字で、SS 又は SE を設定しています。</p> <p>なお、株主（社員）資本等変動計算書の標準フォームを使用して2種類以上の財務諸表を作成する場合は、「HOT010_3_0」と設定してください。</p> <p>また、財務諸表種類の後ろに「_(アンダーバー)」を付すことで、任意の文字列も設定が可能です。</p> <p>(注) ファイル名全体で使用可能な最大文字数は、全角・半角合わせて125文字です。 (左図の場合は17文字)</p>
10		<p>【手順8 : CSV形式データの保存】</p> <p>保存の際に左記注意メッセージが表示されますが、「はい(Y)」をクリックして保存してください。</p> <p>なお、今回作成した Excel データを保管することで、翌期以降は事業年度及び金額等の変更箇所の手換えなどを行えば、容易にCSV形式データが作成できます。</p>
11	<p>(CSVファイルチェックコーナー参照)</p>	<p>【手順9 : データ送信】</p> <p>保存が完了したデータを、e-Tax ソフトに組み込んで送信してください。</p> <p>作成したCSV形式データが、留意事項等に沿って作成されているかチェックを行うツールを提供していますので、ご利用ください。</p> <p><e-Tax ホームページ掲載 URL> https://www.e-tax.nta.go.jp/csvcheck/csvcheck.htm</p>